

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390300014		
法人名	社会福祉法人 千寿福祉会		
事業所名	グループホームみすず		
所在地	岡山県津山市瓜生原326-1		
自己評価作成日	平成25年9月27日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 高齢者・障害者生活支援センター		
所在地	岡山市北区松尾209-1		
訪問調査日	平成25年11月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、「なんだかほっとするね みすずをたずねてみませんか?」という理念のもと、利用者様やご家族に安らぎをご提供することを大切にして運営しております。

今年度は、①医療との連携を深めること、②職員の介護技術・知識の向上を目標に掲げ各行事、研修など計画・実施しています。また、利用者様・ご家族様へのサービス向上を目指すと共に、職員の育成にも力を入れ、外部の研修を積極的に受講したり、外部から講師をお招きし定期的に研修会も行っています。常に職員同士が連携を取り、ご家族様を始め、関係医療機関との連絡を密にし、利用者様を中心としたサービスが提供できるように日々努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設して7年チームワークの良好な職員の下、無理をしない介護が実践されていました。月日と共に重度化していく現実の中、長期入居者も自分で出来る事に最善の努力をされていました。残存機能を大切にされた支援に努め、一人ひとりを大切にされた暮らしが窺えました。接遇研修・認知症研修など積極的に参加し、職員の質の向上にも前向きに取り組まれました。現場第一主義で、利用者に寄り添い、地に足の着いた施設でした。介護業界職員の定着率が低い中、開設当初から居る職員をはじめ、4年、5年と長期勤務者が多い事業です。馴染みの関係だからこそ出来る、認知症ケアを実践されていました。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は職員全員が見ることが出来るように、事務所内に掲示してある。利用者様、ご家族、職員、外部の方々に信頼されるよう日々邁進している。	職員会議等で話し合い理解を深めている。又、その都度原点に立ち返り実践に繋げている。	開所して7年目、事業所が充実してきた頃かと思います。理念の基本はそのまま残し今の現状を踏まえこれから目指していくビジョンを職員全員で話し合い検討されては如何でしょうか。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流が少なくなって来ている。また関連施設等の行事への参加も少なくなっている。	事業所が広い障害者施設の一角にあり外部との交流が難しい立地であるのと、利用者の重度化が進み外出する方は限られるが、地域との交流にも参加し前向きに努力されていきました。	運営推進会議で提案する以外にも事業所自ら地域の行事や活動に参加したり、外に出て行くだけでなく、来て頂く交流も考えてはいかがでしょうか。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域推進会議で利用者様の様子や認知症介護の話をしてアドバイスも頂いている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの行事報告、予定を伝えしている。そこで頂いた意見は職員間で話し合いを行い、利用者様の生活の向上に向けて取り組んでいる。	行政も毎回参加されていました。家族の参加者も多く、家族から看取りに関する意見も出るなど有意義な運営推進会議が開催されていました。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には必ず参加して頂き、そこで意見交換を行ったり、疑問等があればその都度連絡してサービスの向上に繋げている。	運営推進会議にも毎回参加が見られました。生活保護の利用者に関しての相談もされたりと、日頃から密な関係作りに、努力されていました。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての勉強会を行い、玄関の施錠は夜間のみとしている。出来る限り利用者様の気持ちを理解し対応するよう心掛けている。	市の職員に来てもらい接遇研修を行うなど今、何が身体拘束なのかを含めた研修に取り組まれていました。日常的には声かけ・言葉づかいにも注意をしているようでした。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止」の研修に取り組んでいる。職員間での「報連相」や声掛けをし利用者様のサービスを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者様の気持ちを大切に思いながら、その気持ちに添った介護が出来るよう心掛けている。成年後見制度についても研修の機会を設けたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始時に説明し同意を得ている。また契約内容に変更があった場合には速やかに連絡し、必要があれば同意の取り直しも行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様は普段の会話の中から意見を聞かせて頂き、ご家族様は面会時や行事・地域推進会議等に参加して下さった時に意見を聞かせて頂くようにしている。また電話等でも意見を聞かせて頂けるよう心掛けている。	利用者の重度化が進む中、家族も不安に思う看取りに関して提案された意見を事業所運営にいかされていました。自分専用の新聞が欲しいとの意見、職員顔写真を掲示するなど、意見をいただくと即対応されていました。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、調整会議・職員会議を開き、介護業務についての意見や要望を聞き、実行するようにしている。	管理者と職員関係も良好で、意見も活発に出るようです。また、業務の問題点、ストレスなどもスタッフとの密にコミュニケーションを図りながら改善方向に努力されていました。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	毎年、2回責任者と職員一人一人が面接する機会を設け、本人の気持ちや意向を聞くようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人のレベルに合わせた外部研修に積極的に参加している。また年に4回内部研修を行い外部から講師をお招きし学ぶ機会を設け、レベルアップが図れるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修に参加することで、他施設の方と交流する機会を設けている。		

自己 外部	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	その時々にご本人の思いや要望に耳を傾け、適切な対応が出来るよう心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いや要望を聞くと共に、安心した生活が送れるように取り組んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回面接時の当サービスを利用することが適切であるかどうか検討させて頂いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩一個人として敬う気持ちを持ち、ご本人と職員が共に支え合える関係を築くよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とこまめに連絡を取り合いながら、協力して頂ける時はして頂き、又ご本人のみならず、ご家族の要望も取り入れながら良い関係を築けるように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人の馴染み深い所や好きな物・事柄に触れるよう、外出や個別ケアにより、支援するよう努めている。	重度化が進み機能的に外に向けての動きに限界がでてきている。昔の友人、家族が尋ねてこられているようです。自宅近所の神社に行ったりするなど、出来る範囲で関係継続に努力をされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席替えをしたり、職員が間に入るなどの配慮を行い、会話を広げたり繋げたりして、安心して生活が出来るよう信頼関係作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的ではないが移られた先の施設へ出向き、様子を伺うよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	認知症の方の意向は言葉で伝わり難いので、体調や生活リズムの把握に心掛け、できるだけトイレでの排泄・食事の自力摂取、良い睡眠時間の確保に努めている。	利用者それぞれの思いを大切にされていました。日々の生活の中で職員が寄り添い細やかな視点で対応されていました。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に話を聞いたり、ご本人との会話の中で暮らしていた環境を知る。以前利用していたサービス提供者にも可能であれば尋ねてみている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員同士、情報を共有できるようこまめに申し送りノートで伝えている。些細な情報も職員会議で伝えるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族とは面会時や電話で要望を聞き、主治医と連絡を取り意見を聞き、職員会議などにより、職員間で情報の共有をし介護計画に結びつけている、	職員が一つのチームとなり、業務の中で記録された利用者の言葉、行動、思いを下に介護計画が立てられていました。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に気づき等を記入し、職員会議で、情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お花見・敬老会・忘年会の行事に、ご家族を招いては親睦を図り、買い物や催し物があれば一緒に出掛けるように取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の体調の良いときは、外出(買い物や催し物)ができるよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族が受診に付き添う時は、生活状況報告書作成して、主治医に診て頂くようにして、適切な医療ができるよう支援している。	通院は基本家族が主体となった対応がされています。医師の往診は2週間に1回、訪問看護も利用するなど医療連携に努力されていました。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週1回訪問看護師が来訪し、体調や健康状態を口頭・書面で情報提供し、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供を書面・口頭にて医療関係者へ伝え、ご家族・主治医との話し合いを行っている。退院時には安心して当施設での生活が出来るようケアに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期や重度化が予想される時には、早い段階からご家族と十分話し合い思いも聞き、主治医・訪問看護師と連携を取り合い、ご本人が安心して生活が送れるよう支援している。	利用年数が長くなると重度化が進んでいる現状の中、看取りの対応をされていました。それに伴い職員も勉強会をするなど職員の質の向上に前向きに取り組まれました。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AED使用法・心肺蘇生法の実施指導の講習会を受講して、職員の意識向上に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練、防災会議を行い、関連の施設や消防署・地域の方との密着を図っている。	緊急時のマニュアルに添った訓練が実施されました。法人の行う防災訓練に参加しています。また、当事業所単独での防災訓練も行っています。	近年災害は火災だけでなく、地震・水害など想定外の災害が発生しています。1事業所だけではなかなか対応できない場面もあると思いますので、多面的な防災対策の検討をされることを期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人に合わせた言葉掛けや対応を行い、尊厳やプライバシーを傷つけたり損ねることがないように配慮するよう心掛けています。	個性を大切に言葉がけ、誘導等にも細やかな配慮がなされていました。相手の立場に立ち、優しさ、無理をしないケアの実践に取り組まれていました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り、利用者様本人に決めて頂いたり、本人が思いを口に出しやすくするような環境づくりを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人に合わせ、その人らしく生活していけるようご本人のペースを大切にしている。希望をなかなか表現出来ない方には、普段からコミュニケーションをこまめにとることにより支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人に洋服を選んで頂いたり、自由に洋服を選んで頂きやすいようにタンス内を整理し、その人らしい格好や装いが出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の物を使い、季節に応じた献立を考えている。お膳拭き・お膳下げ等出来ることをして頂けるよう支援している。	食事形態、食事時間も利用者の身体レベルに合わせた配慮が見られました。特にメニューを決めず利用者の希望に添った食事提供ができていました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の少ない方には、補助食品やゼリーを摂取して頂いたり、嚥下障害のある方には水分にトロミを付けたり、刻み食にするなど出来るだけ摂取して頂けるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、夕食後を2回は全員の方の口腔ケアを行っている。口腔内の汚れが気になる方は昼食後やおやつ後も口腔ケアを行い口腔内が清潔に保てるようにしている。また定期的に義歯も洗浄するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来るだけおむつや紙パンツは使用せず、利用者様の状態を見ながら時間を決めてトイレ誘導を行うなどの支援を心掛けている。	本人の能力に添った支援をされていました。共同生活の中でどのように共存していくかそれぞれの思い、個性に対応いけばいいのかとの思いで排泄の自立に細やかな対応がなされていました。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量を多くしたり、食事には繊維の多い食物を提供するなど便秘予防に取り組んでいる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴を実施しているが、体調によって入浴出来ない日もあるので、体調に合わせてシャワー浴や清拭にて対応している。	個々の入浴習慣に添った対応がされていました。みんな一緒、誰もが仲間との思いを大切に、毎日の入浴支援が実施されていました。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様の状態・生活習慣に応じて休息して頂けるようにしており、コミュニケーションを取りながら安眠できる対応を心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者様の個人ファイルに綴じてある薬の説明書により把握している。服薬時には必ず手渡しにて薬をお渡しし、服用するのを確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	気分転換として日向ぼっこや色々なレクリエーションを取り入れている。出来る方にはお手伝いをお願いしたり、利用者様の好みを把握し、喜んで食べて頂く工夫をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個別ケアを設け、定期的に出掛けたり、季節毎の行事としても外出を取り入れている。それ以外にも、ホームの食材の買い出しや利用者様の必要な物を買出しに出掛けている。	個々の利用者に合わせた対応ができていました。以前より外出の機会は少なくなったようですが日常的な買物の機会を利用し外出したり外食をしたりしています。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様のほしい物をお聞きして一緒に買い物に出掛けたり、職員が購入してくるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	季節に添ったお便りを、身近な親族の方に近況を含めてお知らせしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間が利用者様にとって、不快や混乱をまねかないよう配慮し、季節毎にお花を生けたり、その時期に合った貼り絵・塗り絵をして頂いている。	限られた空間をうまく活用されていました。室温、加湿など体調にも目を向けた共用空間づくりに努力をされていました。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士を、隣の席やソファで話をしたりして、のんびりして頂いている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は常に明るく、清潔にして、ご本人の好きな物を飾ったり、落ち着けるように心掛けている。	居室は個々の身体的能力、精神状態を考慮したお部屋でした。固定した考えではなく柔軟な考えの下での配置も見られました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内は歩き安く、ご自分でトイレに行かれる方はご自分で行って頂き、お盆拭き・洗濯物たたみ・新聞折り等出来る方にはして頂き、自立支援に繋がるように環境作りをしている。		